

第9回山口市議会議会改革検討協議会 会議報告書

開催日時	令和2年2月10日（月） 15:20～17:15				
開催場所	第1委員会室				
出席者	○会長 重見秀和（県都創生山口） ○副会長 富田正朗（自由民主党山口） ○委員 藏成幹也、湊 和久（自由民主党山口）、瀧川 勉、山本貴広（県都創生山口）、 其原義信（公明党）、氏永東光（高志会）、尾上頼子（日本共産党）、 山見敏雄（市民クラブ）、中野光昭（チームみらい共創） ○委員外議員 竹中一郎（山口維新の会）、植野伸一（継続力の会）				
記録者	書記 金田	欠席者	なし	傍聴	（一般）1名 （報道）1名

以下のとおり概要を報告します。

1 第8回協議会報告書について

副会長から協議内容を説明。出席委員で確認し、意見及び修正なし。

2 協議・確認事項

(1) 市民参画について

○市民と議会の対話集会の実施

「市民からの実施要請に対する受け皿づくり」、「議会が主体となった各団体・業界との対話」を実施する方向で、制度設計は広報広聴委員会で検討してほしい旨の答申とすることで確認された。

→ 答申案作成

○要望書・陳情の取り扱いと提出促進

- ・ 請願、陳情、要望という制度自体を積極的にPRし、市民や議員の理解が深まるよう広報広聴委員会で検討してほしい旨の答申とすることで確認された。
- ・ 要望の取り扱いについては、「自由討議の常任委員会での実施」の項目でも協議され、自由討議を充実させていく取り組みのなかで、要望についても自由討議の議題の1つとして取り上げていくことを提案する旨の答申内容とすることについて、各党派で意見調整を行い、次回確認されることとなった。（詳細は後述（3）参照）

→ 継続協議

○公聴会・参考人の積極的活用

→ 議員が、法の手順に沿って、より積極的に活用していく旨の答申とすることで確認された。

→ 答申案作成

## (2) 議員定数・議員報酬について

### ○議員定数

前回の協議会において、最低でも32人は必要との確認がされたことから、議員定数を32・33・34とすることについての論拠等について議論した。

「県庁所在地であり、県都である本市としては、面積も広大なことから現状のままの34人」、「トレンドは維持または減ではあるが、市民の意見を反映するためには多くてもいいのでは。34人の論拠を改めてしっかり議論を」、「費用弁償の議論が前向きに進んでいることや、若手議員への報酬増を提案しているため、その予算を生み出すためにも32人」、「費用弁償と若手への報酬増が実現しない場合は34でいいのか」、「将来どうなるかは将来の人が決めればいい」、「4常任委員会×8人の32人に、正副議長を加えた34。議員一人当たりの住民数を6,000人として考えると32.5人。大学の先生が示されている面積人口方式から算定すると37.4人。議員定数は1市4町の合併時には100人から34人、阿東町との合併時には48人から34人となったなか、現在、人口は2,000人しか減っていないことを考えると34人」、「これだけ議論して、減らさないという改革というのはどうか。正副議長含めて32人」等の意見が出された。

- 「各会派からの意見はおおよそ出尽くした」、「すべてを折り合うことは困難」等の意見もあり、次回の会議で正副会長案を提示し、それをもとに議論を進めることとなった。
- 3月14日のフォーラムで定数に関する議会案を具体的に示し、フォーラム終了後、早急に協議会を開催し、いただいた市民の意見をふまえ議論することを確認。

→ 継続協議

### ○議員報酬

県内他市のデータや人口が近い近隣市のデータをもとに議論を行った。

報酬についての議論は、報酬審議会であるとの基本認識のもと、「議会としてどこまで議論をするのか」、「報酬審を開催してほしい旨の答申をする際に、現状等をどこまで附帯して書くのか」、「お金もないし、体力ももたない。現在の報酬は決して高くないということを伝えていかないと市民からは反発しかない」、「若手議員のなり手不足のところもしっかり議論して答申すべきでは」、「報酬と費用弁償はセットで考えるべきなのか」、「費用弁償は政務活動費に近いのでは」、「交通費支給という考え方で費用弁償。報酬の議論とは切り離してほしい」、「費用弁償の件は、議員だけでなく他の委員にも影響が及ぶことも考えないといけない」、「自ら立候補してなるのだから、費用弁償もいらない。若手に差をとるという思いもあるが立候補して出てくるのだから」、「諸経費の部分と生業の部分の話が混同している」、「まずは報酬の件を土俵にあげて議論してもらうべきでは」、「まずは報酬。その後、費用弁償では」、「若者の立候補しやすい環境も考慮してほしい旨を付け加えて答申できるか」等の意見が出された。

- 以下について、各会派で意見調整を行い、次回確認。
  - ・市長に対し報酬審議会を開催するよう依頼する旨の答申とすること
  - ・答申の際には他自治体の状況や若い世代のことを考慮する等の附帯意見を附すこと
  - ・費用弁償については、報酬審議会の審議結果を受けた後に再度議論すること

→ 継続協議

### (3) 本会議、委員会について

#### ○自由討議の常任委員会での実施

「賛成者が一人いれば自由討議の議題としてもいいのではという提案」、「委員長報告の充実とリンクする」、「自由討議はいいこと。慣れていないだけでは。議案とか、要望等について、まずはやってみては」、「討議の充実は大事。段階を踏んでいくべきでは」等の意見が出された。

→ 自由討議を充実させていく取り組みのなかで、議案のほか要望等についても自由討議の議題として実施することを提案する旨の答申内容とすることについて、各会派で意見調整を行い、次回確認。

→ **継続協議**

#### ○委員会一般質問の事前通告他

他自治体における委員会での一般質問（所管事務調査）の実施状況について、全国市議会議長会に確認したところ、「理論上は可能なので実施している自治体はあると思うが、データまでは集めていない」との回答だった。インターネット等でみると熊本市、立川市、氷見市、奈良市等が近い形ではないか、との報告があった。

### 3 まとめ及び次回協議に向けた確認事項等

#### 【次回協議事項】

- (1) 議員定数・議員報酬について
- (2) 本会議、委員会について
- (3) 政務活動費について

### 4 (仮) 議会フォーラムについて

2月7日に代表者会議が開催され、以下の内容が確認されたことの報告があり、「アンケート結果を議会だよりに掲載しては」等の意見があった。

#### ■名称 議会改革フォーラム

「これからのまちづくりと山口市議会」—新市発足から15年を迎えて—

■日時 3月14日（土）14時から16時

■場所 県立図書館

■講師 山梨学院大学法学部教授 江藤俊昭 氏

■内容 (1) 主催者あいさつ

(2) 講演

(3) 山口市議会の議会改革への取り組み

～休憩～（アンケートの記入及び回収）

(4) まとめ（議会改革の取組への講評、アンケートの意見に対するコメント）

(5) 閉会あいさつ

次回開催日時：令和2年2月20日（木）10時から